MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

■コミュニティだより

VOL. 49（年４回発行）

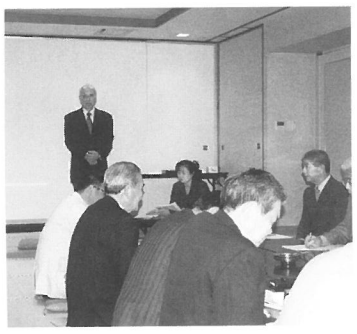
■発行日　平成20年６月１日
■発　行　三春まちづくり協会
■編　集　三春まちづくり協会広報部会
三春町字大町178（旧公民館内）
TEL/FAX（62）3988

〝第六次三春町長期計画に連動したまちづくりの展開！〟
―平成二十年度三春まちづくり協会総会を開催―

四月二十五日、若松屋旅館において三春まちづくり協会の総会が開かれました。総会には、深谷副町長も来賓として出席され『日頃のまちづくり協会の行政を支える活動に感謝すると共に、さまざまな課題について町民の皆さんの理解と協力を得ながら、知恵を出し合い行政を進めていきたい』とのご挨拶がありました。

幕田協会長を議長に、十九年度の事業報告及び収支決算報告に続いて、二十年度の事業計画及び収支予算の審議が行われ、今後一年間のまちづくり活動計画が満場一致で決定しました。また、今年度は役員改選期にあたり長年活躍された武田・浮内両副協会長が退任し、新たに長澤・田部副協会長が選任されたほか、役員・各部会委員の変更がありました。

主な事業項目と新役員、各部会委員などは次のとおりです。



全体事業

1　クリーンアップ作戦
七月六日(日)に実施

2　研修会の開催
住みよいまちづくり活動を推進するため、町民参加の研修会を開催する。

○全体研修
まちづくりの課題について講師を招いて研修を行い共通認識、共通理解のもとに解決にむけて活動を展開する。

○部会研修
各部会内学習並びに各部会の計画に基づき、地域住民の参加を呼びかけ、町内探訪・踏査・視察をおこない理解を深める。

○視察研修
必要に応じて町外のまちづくり先進地を視察し、委員の見識を広め、今後の活動に役立てる。

3　懇談会の開催

○町会議員との懇談会
まちづくりの中心課題について、地区内在住議員と意見交換をおこなう。

○定例出前懇談会
毎月第２水曜日まほら学習室で、町のさまざまな課題についての出前懇談会を実施する。

4　町民球技大会への助成
健康づくり・地域づくりを図る町民球技大会に、各町内会が参加できるよう援助する。

5　自主防災会事業の助成
非常災害時の備えを万全にするため、各町内会が実施する防災訓練等自主防災活動の活性化を援助する。

部会事業

生涯学習部会
夢を持ち豊かな心が育つまちづくり活動
①児童生徒の安全を守るため、各字事業とタイアップした登下校時の見守り活動（通年）
②三春小学校の放課後まほらっ子教室への協力・支援
③子育て支援センター等子育て支援活動への協力

環境部会
だれもが暮しやすいまちづくり活動
①空き家の影響調査
②地球温暖化防止方法など地域環境に関する勉強会の実施

福祉部会
元気で健やかに暮らせるまちづくり活動
①ふれあいの集い開催
②敬老会への参加
③地域ぐるみの健康づくりなど各地区と連携した取り組みの推進

地域部会
みんなが築くつながりのあるまちづくり活動
①散策路（月斉舘、不動山、紫雲寺）草刈・踏査を実施
②散策路案内標柱の設置検討
③中世の三春を中心とした遺跡めぐりの実施

街並部会
地域の特徴と資源を生かした活力あるまちづくり活動
①石柱設置
②第２回石柱・拓本ラリーの実施
③お城山にアジサイを植樹する計画の検討

広報部会
地区住民への情報提供と意欲を高めるまちづくり活動
①広報紙「三春わが街」定期発行及び増刊号・号外・チラシの発行
②定例出前懇談会の開催周知と実施概要の広報

成部会」から「生涯学習部会」へ部会名を変更し、青少年から高齢者までを対象範囲にゆたかな人間性と生き甲斐の創設を支援する活動。

第三に、子育て支援や健康づくり等生活に密着した地域ぐるみの活動の推進。

第四に、「定例出前懇談会」を開催することで、三春町の抱える様々な課題に町民一人ひとりが関心を持ち、町民自治の意欲を高めまちづくりに参画できる機会づくりと情報提供の場を増やす活動。

このような指針を持ちスタートしますが、初年度でもあり具体的な施策の展開としては、地域の皆さんの理解と協力を得ながら、創意と努力で推進していくことになります。

◇役員改選が行われ、各団体推薦、各字推薦の協会委員の交代もあり、新規約に基づいた新たなまちづくり活動のより一層の進展が期待されます。

なお、「第六次三春町長期計画」概要版（抜粋）を次頁へ掲載します。

編集者の眼

平成二十年度総会の特徴

◇昨年度規約改正した条項が今年度から施行されることになりました。

第一に、協会事業の基本的な視点を「第六次三春町長期計画」に置き、協働によるまちづくりの役割を担える協会組織を目指すこと。

第二に、少子高齢化時代の到来による地域課題にふさわしい取り組みの導入として、「青少年育

三春まちづくり協会役員

協会長	幕田勝寿
副協会長	長澤晟
	田部敬子
監事	松本正幸
	柳沼清喜
	柳沼清喜
大町委員長	伊藤裕司
中町委員長	武田英男
八幡町委員長	佐藤栄一
荒町委員長	千葉弘
北町委員長	長澤晟
新町委員長	大津茂
八島台委員長	
各部会長　6名	
専従嘱託員	大内昌子

部会名	氏名	推薦団体
生涯学習部会	◎橋本俊宏	中町
	○村上俊朗	八幡町
	佐久間善子	民生児童委員
	渡辺邦雄	荒町
	村上幸子	民生児童委員
	柳沼一雄	新町
	中村秀子	民生児童委員
	新野恭朗	町消防団
	池野正義	三春小ＰＴＡ
	渡辺太	三春中ＰＴＡ
環境部会	◎渡辺博行	荒町
	○大内次男	八島台
	村上喜代治	大町
	佐々木律子	中町
	先崎豊治	八幡町
	降矢由美子	北町
	大越瑛子	新町
	永山栄子	町婦連協議会
	増子弘昌	町商工会
福祉部会	◎田部敬子	荒町
	○久保ツヤノ	民生児童委員
	佐久間貞治	大町
	佐久間能生子	中町
	小林東子	八幡町
	川上昭子	新町
	金子豊治朗	八島台(区長)
	大室公統	老人クラブ
地域部会	◎田母野公彦	新町
	○菅井英雄	荒町
	藤泉ヒロ	大町
	吉田勝子	中町
	阿部勇	八幡町
	渡辺照雄	八幡町(区長)
	吉田トモ子	民生児童委員
	川名清	新町(区長)
	渡辺吉治	八島台(区長)
街並部会	◎佐久間保一	八島台
	○橋本奉明	八幡町
	橋本信子	大町
	渡辺義広	中町
	中村利孝	中町
	武像ヒサ子	民生児童委員
	壁寸健一	荒町(区長)
	岡山幸直	北町
	根本忠	新町
	三瓶正次	民生児童委員
広報部会	◎永井久	荒町
	○湊昭一	新町
	庭山トク	大町
	佐藤勝夫	八幡町(区長)
	大谷明弘	北町
	村田マサ	八島台

◎部会長　○副部会長

第６次三春町長期計画

「第６次三春町長期計画」は平成18年度から27年度までの10年間のまちづくりの基本方針を定めたものです。
三春まちづくり協会の活動もこの長期計画を踏まえて、協働によるまちづくりを進めていきます。
また毎月第３水曜日に開催する「定期出前懇談会」のテーマもこの長期計画に関連したものを取り上げていきます。

※定期出前懇談会のテーマについてのご要望は
事務局（TEL/FAX62－3988）までお寄せください。

基本理念

安全安心なまち

危険がなく、安全に暮らせるからこそ安心が生じ、安心して暮らせるからこそ生活を楽しむことができます。
安全で安心して暮らせるまちを築いていきます。

自主自立のまち

「住民自らが考え、自らが決めそして自らが責任を持って実行する」という自主自立の実現に向け、自分たちのまちに誇りと愛着が持てるまちづくりを目指します。

継続発展するまち

少子高齢化問題や環境問題などの社会問題を受け止めつつ、これまでの元気で活力ある地域社会やうつくしい自然環境をずっと守り育てていきます。

●元気で健やかに暮らせるまちづくり

健康づくりの推進
生活習慣病や介護の「予防」に重点を置き、検診・健康管理の支援、保健サービスの充実などを図ります。

地域医療の充実
地域における病院機能を保持し、地域の保健・福祉・医療の連携強化を図るとともに医療費の適正化対策に努めます。

地域福祉・社会福祉の充実
みんなで力を合わせる相互扶助の考え方が重要であり、地域で支え合う地域福祉の仕組みづくりを進めます。

高齢者福祉の充実
敬老園の改修や、お年寄りの社会参加への支援、在宅福祉サービスの充実などを図ります。

障がい者福祉の充実
障がい者や障がい児が安心して生活が送れるよう、情報の提供やサービスの充実を進めます。

●だれもが暮らしやすいまちづくり

防災・災害対策
災害に強い地域づくりや災害に対する備えを充実させます。桜川の改修も進めます。

情報通信基盤の整備
インターネットや携帯電話が町内のどこにおいても利用できるよう努めます。

交通安全・防犯対策
関係機関や地域との連携により交通安全や防犯体制の充実を図ります。

住環境の整備
景観や自然環境と調和した住環境の整備を図ります。

上下水道の整備
安全でおいしい水を安定的に供給していきます。生活環境改善のため下水道や浄化槽を計画的に整備します。

田園生活空間の提供
田舎暮らしが注目されており、美しい自然や農村の魅力を最大限に活かした田園生活空間の提供を進めます。

道路・交通網の整備
利便性、安全性を考えた道路の整備を図るとともに、地域特性に合わせた公共交通のあり方についても検討します。

魅力ある市街地の形成
商業の拠点づくりに取り組むとともに、広場や緑地づくりを進めます。

●みんなで築くつながりのあるまちづくり

協働によるまちづくり
地域の連帯感を築き、個人・地域・行政の役割が理解され、協働によるまちづくりが実現できるよう取り組みます。

情報の共有化
広報などを通じ、まちづくりや行政情報を発信し、事業の企画・計画段階から町民が参画できるよう努めます。

ボランティア活動への支援
町民による活動を活発化させ、協働のまちづくりを推進するために、ボランティアやＮＰＯの育成・活動支援を図ります。

広域行政の推進
事業の効果や効率を考え、消防や廃棄物処理をはじめ、今後も周辺自治体との連携・協力体制を進めます。

●夢をもち豊かな心が育つまちづくり

子育て支援
安心して子どもを生み育てられる環境整備のため、地域・企業・行政が連携し地域一体となった子育て支援を進めます。

青少年の健全育成
関係機関や地域との連携を一層強化し、犯罪や虐待が起きないよう近隣の見守りと早期発見に努めます。

幼児教育の充実
ニーズに合わせた幼児教育・保育サービスの実施や充実を図るとともに、保育内容や定員数の検討を行います。

文化・生涯学習・交流の推進
交流館を拠点とし、人・物・情報の交流の場と、町民の多様なニーズに対応した生涯学習機会の提供を進めます。

学校教育の充実
学力向上に加え、心の教育にも力を入れるとともに、少子化に伴う小人数指導の工夫や学校の再編（統廃合）の検討を行います。

スポーツの振興
スポーツを通して心身ともに健全な人間を育成するとともに、誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる機会の充実に取り組みます。

校外学習の充実
子どもたちが放課後や休日の自由な時間を安全に充実して過ごせるよう、地域と一体となって取り組みます。

男女共同参画の推進
男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、個性と能力を十分に発揮できる社会の実現に向けて取り組みます。

●地域の特質と資源を活かした活力のあるまちづくり

農林業の振興
集落営農の推進、担い手の育成、地産地消の推進などにより農林業の振興に取り組みます。

環境・リサイクルへの配慮
これまで以上に分別収集やリサイクルに力をいれるとともに、不法投棄への対応や環境美化向上に努めます。

工業の振興
安定した雇用の場を確保するため、新たな企業の誘致や既存の企業への支援に取り組みます。

歴史・文化の継承
先人たちが築き上げた伝統文化を継承し歴史的・文化的な資源を守り、これらを活かした取組みを進めます。

商業の振興
意欲ある商業の担い手への支援策の展開や、触れ合いのある、歩いて楽しい魅力的な商店街の形成を図ります。

良好な景観の形成
歴史的・文化的伝統と恵まれた自然環境を貴重な財産として、これからも町全体の景観を守り育てていきます。

観光の振興
地域ブランドや特産品などの情報を発信し通年型、滞在型の観光、街中への誘客を進めます。

土地利用の検討
町全域において、町民とともに計画的な土地利用や望ましい土地利用について検討を深め、それに沿った取組みを進めます。

三春町作成「第６次三春町長期計画（概要版）」より転載

編集後記

▼「梅・桃・桜、勝っても負けても心は一つ！」今年の三春小学校運動会のテーマに校内公募で選ばれた作品である。久しぶりに小学校の運動会に出かけてみて、もう五十数年も昔のことで記憶も大分薄れているが、私の小学校当時の運動会とはちょっと違った感じがした▼生徒たちで組織する実行委員会が中心になり、運動会の運営を企画し、開会式から閉会式までの進行は勿論、競技の準備や選手誘導、閉会後の後片付けまでそれぞれの役割分担に応じてテキパキと行動していた▼上級生と下級生の異学年生がチームを組んだ団体競技種目。仲間同士の絆、努力した人への賞賛、先生や支援者への感謝をこめた閉会宣言。いずれも人への思いやりやこれからの世代間の理想的な結びつきを感じさせるものがあった。当然、陰には先生方の熱心な指導があると思うが、生徒たちがその指導に応え確実に自分達のものとして築き上げている姿に感銘した▼五十年前の自分にそれだけの社会性や自覚が果たしてあったのか自信がない。今の子供たちには素晴らしい感性と能力が備わっている。競技種目にもあったように、文字どおり子供たちは「まちの宝」である。雨後の竹の子のようにドンドン芽を出し、大空に向かって力強く、まっすぐに育ってほしいものである。（湊）

コミュニティだより
「三春わが街」第四十九号
発行日　平成二十年六月一日
発行　三春まちづくり協会
編集　三春まちづくり協会
広報部会
三春町字大町一七八
（六二）三九八八